

工師 デレターケ

吉野川 検査復命書

吉野川検査復命書

我ハ河ニ謹テ阿波國吉野川検査ノ事ヲ報告上申セントス
先以此書ニ附屬スル所ノ附録及図類ヲ申陳スレハ其目左ノ
如シ

- 一、附録第一 吉野本流左側ノ諸谷逐一ノ辨明書
- 一、同 第二 水位高低試験及流線長短ノ表
- 一、同 第三 第十村堰埭ノ位置図
- 一、同 第四 徳島市街ノ平面図
- 一、岩津村ヨリ下流吉野川ノ畧図一通之レハ佐野山ヨリ鳴門ノ外ニ至ル迄ノ阿波海岸ヲ附ス。又タ此図ニハ他日ノ改良計畫ヲモ示セリ。
- 一、吉野川流尾洲嶼並ニ岩津村ヨリ下流ノ畧図一通縮製寫
図紙ニ描セルモノ
- 一、右岩津村ヨリ下流ノ図二通ハ両ナカラ凡三万分一ノ縮
度ナリ
- 一、洲嶼中疏水ノ方法ヲ示セル日本風ノ略図一通之ニハ日

河ニ。ここに
先以テ。まずもつて
申陳ス。申しのべる
目。こわけ(細目の意)

堰埭。堰

流尾。河口
洲嶼。しま(洲島の意)
西ナカラ。ふたつながら

吉野川検査復命書

私はここに謹んで阿波國吉野川検査の結果を報告上申いたします。
まず、此の報告書につける附録書類、図面類は次の通りです。

- 一、附録第一、吉野川本流左側の諸溪谷の説明書
- 一、附録第二、水位高低試験測量と流線長の表
- 一、附録第三、第十村堰の位置図
- 一、附録第四、徳島市街の平面図
- 一、岩津村(阿波町岩津)より下流の吉野川の略図一葉
これには佐野山より鳴門の外に至るまでの阿波海岸図をつ
ける。またこの図には他日の改良計画をも示した。
- 一、吉野川川口の洲嶼並びに岩津村より下流の略図一葉
布製写図紙に描いたもの
- 一、右の岩津村より下流図は二図とも、約三万分の一の縮尺で
ある。
- 一、洲嶼中の疏水の方法を示した日本風の略図一葉

※1 付録
現在、付録書類(付録第一を
除く)、岩津村より下流の吉
野川の略図一葉以外の図面類
は所在不明である。

※2 佐野山
小松島市田野山

※3 洲嶼
州・島のこと

本語ノ解説ヲ附ス
 一、土佐國吉野川上流ノ畧図一通
 一、撫養地方ノ略図一通
 一、阿波國ノ図一通
 以上

内務省
 工師 ヨハデレーケ 敬具

東京
 一千八百八十四年九月二十三日

土木局長島三等出仕殿貴下

ヨハデレーケ リオラング人にして
 政府に招へいされ來日、一千八百八十四
 年 明治十七年にあたる

出仕 官職

これには日本語の解説をつける。
 一、土佐國中の吉野川上流の略図一葉
 一、撫養地方（鳴門市）の略図一葉
 一、阿波國の図一葉

以上

内務省
 工師 ヨハデレーケ 敬具

東京
 一八八四年（明治十七年）九月二十三日
 土木局長 島三等出仕殿 貴下

※ヨハデレーケ
 ヨハネス・デ・レーケ
 オランダ人で政府に招へいさ
 れ明治六年來日し、約三〇年
 間滞在して日本の砂防・河
 川・港湾事業について指導し
 た。